

平成 28年度 評価計画及び自己評価

(計画)・中間・最終)

宮原中学校区 校番 11 学校名 呉市立坪内小学校

a 学校教育目標	<p>みずから ひらく ～夢と志をもち よりよく生きる子どもの育成～</p> <p>小中一貫教育目標 【みやはら夢いっぱい】</p>	<p>b 経営理念 ミッション・ビジョン</p>	<p>(ミッション) (学校の使命)知・徳・体の調和がとれ、主体的で自律した児童を育成することで、自らの将来を切り拓き、地域に貢献できる人材をうむ学校となる。</p> <p>(ビジョン) (将来の学校像) ・児童が夢や目標をもち、生き生きと活動できる学校。 ・児童が安心できる学校環境で学び、生きる力(主体的な学び・豊かな心・たくましい体)がつく学校。 ・児童、保護者、地域、教職員が誇りに思う学校。</p>
----------	---	------------------------------	--

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	<p>「宮原授業モデル」の充実や個に応じた指導の徹底により、児童の基礎的学力は定着しつつあり、昨年度からは「学びを活用する力」の育成を目指して授業改善に取り組んでいる。児童は活発で子どもらしく、上学年の姿に学んで育つ良い風土がある一方、自ら判断してより良い行動をとることや自己を豊かに表現したり、新たなことに挑戦したりすることは少ない。全体として生徒指導上の問題行動は少ないが、登校を渋り気味の児童は依然なくなっていない。このような現状を受け、今年度は、児童に「夢や志をもたせ、学ぶ意欲」を育てるとともに、「学びを活用して自ら考えたり、他と協働したりして問題を解決してよりよく生きていく力」を付ける取組を行うことで、児童が自信をもち生き生きと活動する学校作りを進めていく。</p>
------------------------------	--

評価計画(中期経営目標を設定してから①・②・③年目)					自己評価						
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	(9)月			(1)月		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
*** (賞)	主体的な学びの育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題発見・解決学習の構築による表現力・判断力・思考力の向上(賞) ○ 言語能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題発見・解決過程のある国語科の単元構成・学び合いによる思考の深まりのある授業づくりを行う。 ○暗唱発表・校外への投稿・応募を年1回以上実施する。 ○活字に触れる機会を増やし、視写(要約)をスキルタイムで継続して実施する。 ○目標を決めた読書に取り組む。(低100冊, 中60冊, 高5000ページ) 	<ul style="list-style-type: none"> ○「基礎・基本」定着状況調査、全国学力・学習状況調査の正答率(国語科)県平均以上 ○学期末テスト・学カテストの正答率(国語科)60%以上の児童…80%以上 30%未満の児童…0% 	100%	100	100	A			
** (賞)	豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 規範意識の向上(賞) ○ 自尊感情(自信)の育成(賞) 	<ul style="list-style-type: none"> ○週一回のノーチャイムデーを設定し、自ら進んで動くことができるようにする。 ○縦割り班掃除で、各班の班長が掃除マイスターを決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ノーチャイムデーで自ら動くことができる児童が80%以上 ○「黙って掃除をがんばった」児童80%以上 	100%	91	114	A□			
					100%	93	116	A			
* (賞)	たくましい体の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的な体づくり ○ 基本的な生活習慣作り 	<ul style="list-style-type: none"> ○新体力テストの結果を基にした業間体育での取組 ○睡眠について考え、「早寝・早起き」の習慣を身に付けさせる。「生活リズムカレンダー」を学期に1回行い、「早寝・早起き」を重点項目とする。「生活リズムカレンダー」を工夫して、取組への意欲をもたせ、保護者のコメント記入欄を設ける。保健便りなどの通信で、保護者へ睡眠について啓発していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○新体力テストの種目率80%以上 ○2学期以降の業間体育での取組は、新体力テストの結果を基に考え、取り組む ○睡眠時間の目標 低学年 9時間 高学年 8時間 確保できる割合が、85%以上 	100%	85	106	A			
					100%	83 94	98 111	B A			

【k:評価】

A: 100 ≤ (目標達成) B: 80 ≤ (ほぼ達成) < 100
C: 60 ≤ (もう少し) < 80 D: (できていない) < 60